

第195回教育研究評議会議事要録

1 日 時 令和元年10月25日(金) 10:36～11:54

2 場 所 事務局第1会議室

3 議 事

(1) 長崎大学受託研修員規則の一部改正について

理事(研究・国際担当)から、資料1に基づき、独立行政法人国際協力機構(JICA)から受け入れる受託研修員の研修料を、令和元年10月の消費税増税に合わせて見直すため、長崎大学受託研修員規則を一部改正することについて説明があり、審議の結果、了承された。

(2) 長崎大学入学時給付奨学金規程の制定について

理事(社会連携・学生担当)から、資料2-1及び資料2-2に基づき、長崎大学に入学する成績が優秀な者に対し、入学時の経済的負担を軽減するための奨学金制度を令和2年度から設けることにより、本学への進学意欲を促し、地域の発展に貢献できる優れた人材の育成に資するため、長崎大学入学時給付奨学金規程を制定することについて説明があり、審議の結果、了承された。

(3) 大学入試過去問題活用宣言への参加について

副学長(入試担当)から、資料3に基づき、入学試験の作題においては、作題者の負担が大きいことから、他大学の過去の入学試験問題の良問を活用することにより負担軽減を図るため、「入試過去問題活用宣言」の参加大学となることについて説明があり、審議の結果、了承された。

(4) 個別入試(共通問題)の作題体制の見直しについて

副学長(入試担当)から、資料4に基づき、入試の作問等にかかる部局間の不公平な教員負担の現状の改善に向けた基本的な考え方と今後の方策について説明があり、審議の結果、了承された。

また、現行の入試においては教員の負担が大きいため、教員の負担を減らしつつ、本学が求める学生を確保できる入試について検討を進めるよう、学長から指示があった。

4 報告事項

(1) 「国立大学改革方針」を踏まえた国立大学との徹底した対話の実施に向けた本学の将来構想と今後の取組に係る調書の作成について

理事(財務担当)から、資料5に基づき、文部科学省から、「国立大学改革方針」を踏まえた文部科学省と国立大学との徹底した対話の実施に向けて、本学の将来構想と今後の取組に関する調書の作成依頼があったことについて、報告があった。

(2) 本学の教育指標について

理事(教学担当)から、資料6-1～資料6-8に基づき、本学の教育の指標として、各学部における入試の志願者及び入学辞退者数並びに進級、留年、退学者、外部試験の活用状況等について報告があった。

以上